



▲浜南駅付近を走るサンライズエクスプレス 清水支部 小長谷 勇

CONTENTS

2 地本・支部だより

●本部

平成28年 春の叙勲受章おめでとうございます
平成28年度 東海鉄道OB会表彰式・総会を開催
平成28年度 東海鉄道OB会基本方針

4 ●名古屋地方本部

桑名、四日市、鈴鹿3支部合同旅行会
「ゲンジボタルの里」のホテル祭り
ゴルフを通し我が世代を謳歌する
三金会「お花見日帰り」旅行
第8回JNR三重地区ゴルフ大会を開催

6 ●東海大阪地方本部

第22回ゴルフ大会を開催

7 ●静岡地方本部

新潟弥彦山・角田山春の花を楽しむ
恒例の「お楽しみ支部総会」を盛大に

8 JR東海トピックス

11 東海鉄道OB会 会員優待情報

12 お元気ですか? 名古屋セントラル病院
高血圧について

13 投稿ページ

支部だより「ふれあい240号」毎月発行で20年
磐田支部 藤田 信一郎

14 インストラクター

枯れ株に「山野草の寄せ植え作り」教室を開催
東濃支部 足立 市治郎

我が支部の誇り

大河ドラマ「おんな城主 直虎」放映～来年
遠州北支部 野末 龍一

15 文芸

編集後記

本部

平成28年 春の叙勲受章
おめでとうございます

平成28年4月29日、春の叙勲受章者が発表され、東海鉄道OB会関係では、中津川支部の青山 茂様が鉄道業務功労で栄える賞賜を受けられました。

その伝達式为、5月11日ザ・プリンスパークタワー東京で行われました。

平成28年度
東海鉄道OB会
表彰式・総会を開催

東海鉄道OB会 事務局

東海鉄道OB会は、5月19日11時より名古屋マリottiアンソニホテルで平成28年度会長表彰式及び総会を開催しました。

会長表彰式及び総会には、ご来賓としてJR東海金子代表取締役副社長、執行役員稲葉総務部長、総務部神谷総務課長、JR貨物吉澤東海支社長、また、東海鉄道OB会から天谷会長をはじめ各副会長、専務理事、代議員及び会長表彰受賞者等46名が出席されました。

先ず昨年度亡くなりました297名の物故者に対する黙祷を捧げた後、表彰式に移りOB会の発展・運営に多大に貢献された特別功労章2名、会員増強表彰(団体)1支部・1個人、増収協力表彰(団体)2支部、役員功労表彰16名が受賞されました。

会長表彰受賞者は次の通りです。(敬称略)

○特別功労章

静岡地方本部 静岡支部 白井 康雄
名古屋地方本部 垂井支部 北村 忠行

○会員増強表彰

名古屋地方本部 名古屋東支部 (団体)
名古屋地方本部 鈴鹿支部 橋井 義一

○増収協力表彰

名古屋地方本部 西濃支部 (団体)
名古屋地方本部 竜山支部 (団体)

○役員功労表彰

(静岡地方本部)

御殿場支部 小高山 一喜 沼津支部 一見 高大
藤枝支部 大坪 重樹 袋井支部 柴田 儀一
磐田支部 石川 安彦 豊橋支部 河合 具布
飯田支部 山口 一男



▲天谷会長から表彰状を手渡される受賞者

(名古屋地方本部)

守山支部 飯田 昌由 名古屋運輸支部 吉田 忠
稲沢支部 鈴木 隆哉 岐阜支部 上田 忠彦
垂井支部 土山 重男 尾北支部 井戸 三郎
高蔵寺支部 原田 国夫 東濃支部 安藤 彰男
四日市支部 西山 征矢雄

総会では、天谷会長から「本日は東海鉄道OB会の総会に大変お忙しいところご出席いただき誠にありがとうございます。また、ご臨席いただきましたご来賓の方々にお礼申し上げます。

先程21名の方と3つの団体を表彰させていただきましたが、長年に亘りこの鉄道OB会の活動を支えていただきまして改めて厚く御礼申し上げる次第であります。

各支部におきましては、旅行会、ウォーキング或いはゴルフ大会など様々な親睦の場が持たれております。また、無人駅舎の清掃、展示されているSLの清掃・整備と言ったJRに対する貢献、地域社会に対する貢献活動が行われています。

東海鉄道OB会の会員数は、現在6,700名余りで、長寿社会を反映して80歳台以上の方が、そのほぼ半数を占め、60歳台の方が約2割、70歳台の方が約3割、90歳を越えている会員の方が全体の約1割強、730名余りおられます。

90歳を越えてもまだまだ元気な活動しておられる方は沢山おられる訳ですが、やはりOB会の永続的な運営を考えていきますと、若い方に会員になっていただくことが非常に重要なことであると思います。周りの方でまだ会員になっておられないOBの方がおられましたら、是非一声掛けさせていただきたいと思っております。

次に、今年4月に発生しました熊本地震では、九州鉄道OB熊本地方本部及び大分地方本部に所属する会員の皆様ので多数の方がかなり甚大な被害を受けられました。これらの方を支援するため、

九州鉄道OB会から支援の要請来ており、日本鉄道OB会連合会でも支援して行こうということになっています。これから義金という形でご協力を仰ぎたいと思っていますので、どうかこの点につきましてもお申し上げます。

また、今後とも東海鉄道OB会の活動に一層のご支援賜りますようお願い申し上げます。」と挨拶されました。

続いて、来賓を代表してJR東海金子代表取締役副社長が会社の近況等についてご挨拶がありました。

「先頃、平成27年度の営業成績を発表させていただきました。一言で言いますと大変好調であり、連結の決算では、営業収が4%伸びて一兆七千億円になりました。主力の新幹線も輸送キロで4.1%伸びて過去最高の水準にあります。ご利用が多かったことに合せて、安全安定輸送の面でも昨年は災害が少なかった。また、お客様に煩悩を損なう事故もなかったこともあり、東海新幹線の平均遅延時間は、0.2分と安定した1年でした。

今年度も好調を維持してゴールデンウィークを含め、ますすのスタートとなりました。また、中央リニア新幹線ですが、これは一昨年10月に工事認可を受け、昨年は実質的な工事スタートした年でありました。一番難しいのは南アルプスのトンネル工事と品川駅、名古屋駅の地下のターミナル工事です。南アルプスと品川駅で工事に着手することができました。まだ始まったばかりの段階であり、この先いろいろな難事があると思われませんが、事故を起さないこと、環境問題、地域との連携といった問題に向き合い着実に、また、会社の健全経営と両立させながら進めていきたいと決意しています。

関連会社も全般的に好調でした。グートタワーという新しいビル工事も終盤を迎えています。名古屋駅前には、既にJPタワーと、名古屋ビルディングが完成し、私どものグートタワーの完成間近かで11月にはオフィスが入り、来年4月に百貨店、ホテルが開業することになっていますので名古屋駅前がわり、一段と活況を呈することになると思います。



▲天谷会長

昨年度の事業面では大変よい報告ができましたが、今年度も引き続き事故を起さないよう安全安定輸送を一番に、ここに気の緩みが出ないよう気持ちを引き締めて事業を進めていきたいと思っています。

近況報告はこの辺にしてOB会の皆様には、日頃から様々な点でご支援ご協力をいただき誠にありがとうございます。いろいろな点でお世話になっており全部申し上げることはできませんが、私どもの会社、グループ会社の営業面でいろいろご協力をいただいている中で、各鉄道事業本部、支社で行っている「さわやかウォーキング」において、OB会の皆様のご自身の参加、地区によっては案内・誘導といった主催者側のお手伝いをいただいております。

さわやかウォーキングは、始めてから年数が経過してきましたが、ここ一二年また力を入れていることもあり、ご参加の方からご好評をいただき、固定ファンも出来てきました。

その地区の方が参加いただくことは勿論ですが、静岡に東京の方がご参加いただくか、名古屋の方が関西へ行っていただくとかいい形ができてきました。社内においても営業関係以外の保線とか工務の社員も参加することで会社の中で一体感ができています。

このほか、毎年のことではありますが駅の構内、SL、花壇・植木・植栽の清掃・手入れなどのほか、野球の応援にもご協力いただき感謝申し上げます。

OB会の課題は、会員の高齢化というものがありますが、会員数の減少に対してこれだという特効薬はなく、歯がゆい気持ちもありますが、JR退職者のOB会への入会促進とOB会での魅力的な活動(レクリエーション活動)を展開するといった両面から取り組んで行くことが大切なことであることは間違いないと思います。私どももOB会の皆さんと協力して取り組んで参りたい」と述べられました。

その後、平成27年度事業報告、収支決算の報告が行われ引き続き平成28年度基本方針(案)と予算(案)が審議され全会一致で承認されました。



▲JR東海金子代表取締役副社長

平成28年度 東海鉄道OB会基本方針

1. 会員の増強

- (1) JR退職者の新規入会促進
- (2) 未加入者の発掘と入会勧誘
- (3) 退会者の抑制
- (4) 女性会員(遺族会員・準会員)入会促進

2. 支部活動の活性化

- (1) 積極的な地域との交流促進
- (2) 会員相互の交流活動を充実
- (3) 支部間交流の推進

3. JR東海及びJR東海グループ会社への協力

- (1) 旅行会の開催
- (2) SL等鉄道展示車両の整備・清掃及び無人駅の清掃・美化等
- (3) さわやかウォーキング、各種イベント等への協力

4. 会員への情報提供

- (1) 会報の充実
- (2) ホームページの活用

名古屋地方本部

桑名、四日市、鈴鹿 3支部合同旅行会

鈴鹿支部 永戸 正和

3月10日、未明まで降り続いていた雨もあがり、少し肌寒いものの、この時季としては格好の日となり、61歳の若手から96歳の大先輩まで総勢40名の団を乗せたバスは一路「奈良」に向かいました。

車内では、「ヨー久し振り、元気やった!」「あなたは昔と全く変わらん!」など方言交じりの賑やかな声が響き渡りました。バスは、アツという間に東大寺に到着し、修学旅行以来50年振りに見上げる大仏様の大きさに、誰もが感嘆の声を上げていました。平日のためか観光客はやや少なかったが、修学旅行生の嬌声に混じって甲高い外国語が飛び交っていました。

昼食に入ったお店でバスガイドがお店の方に「外国の方が随分多いようですが!!」と尋ねたところ、片言の日本語で「はい、外国人ばかりね」と応えたのは驚きでした。

奈良公園では、「せんべい」を見せながら行儀の悪い鹿に説教したり写真を撮ったりした後、天理市の小さな酒蔵に立



▲久し振りに訪れた大仏殿前で記念写真

ち寄りました。ここでは吟醸酒や原酒の試飲と併せて5銘柄の利酒も行っていました。

お酒好きの面々は、早速この5銘柄当てゲームに挑戦しました。先ず、夫々のお酒の香りや口当たりなどの特徴を覚えた後、隣のテーブルに同じ形のピンに1番から5番のラベルが貼られたお酒を順に口に、「ムーン、もうちょっと飲まんとわらんかぁ」「これと違うな、これかな?」と口にしているうちに、酔いが回って区別がつかなくなる人もいました。この酒蔵での全問正解率は5%程度のごとで、参加者は、解答用紙に答えを書いて提出、土産物を選んでいる間に酒蔵のスタッフにより採点されましたが、全問正解したのはガイドを含め41名中2名でした。

酒に強い人、酒が好きな人でも区別が難しい利酒でしたがほろ酔い気分の一団を乗せた車内では、カラオケで大賑わいとなり、懐メロなどを合唱して別れを惜しみました。

「ゲンジボタルの里」のホタル祭り

山梨支部 筑摩 栄

毎年5月から6月の湿度が高く風のない「蒸し暑い」日の午後8時から午後9時の時刻を好んで「舞う」古来から日本で人気のあるゲンジボタルは、初夏の風物詩となっています。

東海道本線柏原駅から近江長岡駅に沿って流れる天野川、弥高川、黒田川など地域の河川をはじめ、やれに注ぐ小川にはホタルが生息し、毎年この時季になると星の数を越えるかと思わせるホタルが、「舞って」我々住民は勿論、広く名古屋、京都、大阪からのお客様を迎え入れ、初夏の一夜を和ませてくれます。地元では、6月初旬から米原市と一体となって「ホタル祭り」を催し、ホタルの舞を盛り上げています。

当地のゲンジボタルは、昭和19年3月に天然記念物に指定され、その後、昭和27年には、国内でホタル発生地として唯一「特別天然記念物」に指定され現在に至っています。

当時は、今と同様に沢山舞っていました。しかし、昭和34年伊勢湾台風で天野川をはじめ、付近の河川が氾濫し、その後の河川改修で周辺環境が一変し、一時は乱舞するホタルを見

つけ追うことができなくなりました。

そのため地域の小学校、有識者、関係機関及び住民などが中心となり、周辺の環境を整備し、ホタルの餌となるカワナを育てる苦労を重ねた結果、以前のように乱舞を見られるようになりました。

山梨支部に所属する鉄道OB会の皆様も、以前からその中心となって活動を支えています。

今年も沢山のお客様をお迎えしたいと準備をしていますので是非お出掛けください。お待ちしております。



▲訪れる人々に沿った案内板

ゴルフを通し 我が世代を謳歌する

中津川支部 田口 喬示
勝 忠春
恵那支部 西尾 均

第一世代は、この世に生まれてから親の保護、脛かじりの間、第二世代は、社会及び家族に責任を持つ間、その次の第三世代は、諸々の制約から開放された自分の自由となる間とするならば、我々は、鉄道を通して社会に貢献した第二世代を卒業し、自分の選択で地域貢献・趣味・ボランティア・野菜作り等々の活動ができる第三世代に属しています。

じっと老いるのを単に時間に任せてはならない、齢を重ねても社会に関わり、また、社会に属したいのも本能でしょう。

そんな社会の一つに「東海鉄道OB会」があります。同じ釜の飯を食べた者同志ゆえに、何事も気兼ねなく楽しんで活動できます。

中津川支部でも我が世代を皆で謳歌できる魅力を発信する努力を重ねています。その一つが3年前に立ち上げたゴルフ同好会「りにあ会」で、今では発足時の倍の会員数(21名)となり、年3回(春、夏、秋)の開催を続けています。



▲お天気もよく楽しく親睦が図れました

第9回となるこの春に、念願であった中津川支部と恵那支部との合同親睦ゴルフを4月6日ユージュグリーン中津川ゴルフ倶楽部で開催しました。当日は、総勢23名で快晴かつ桜満開日和のなか、旧知の同世代仲間同志であり、スコアはさておいて楽しい一日を過ごしました。

参加者の平均年齢は71歳でありましたが、中にはスコア80台でプレーする70歳台の方もおり、まだまだ我々はじっとしておられない世代と感じました。何をしても「タメ」が必要です。第三世代に適した活動をするためにも、先ずコミュニケーションと運動で「タメ」を貯めるゴルフを謳歌しています。

三金会「お花見日帰り」旅行

笠寺支部 近藤 誠一

4月5日、恒例の7支部合同(三金会)で飯田方面へお花見バス旅行に出掛けました。

総勢35名が名古屋駅に集合した際、天候は花曇りでしたが、車内では久々の再会に話が弾みました。

途中、恵那峡SAで休憩した時に、天候が少し怪しくなり先行きが心配になりましたが、恵那山トンネル通過後には少し天候の様子も変わり雨の心配はなくなりました。

最初の目的地である駒ヶ根市の光前寺は、南信州随一の祈願聖場で樹齢数百年の杉並木に囲まれ、池泉庭園や光苔が自生する境内全域が光前寺庭園の名で名勝に指定されているほか、豊大早太郎の伝説でも有名なところでもあります。

また、仁王門から大講堂付近を中心に約70本のしだれ桜が植えられているなど厳かなお寺でした。しかし、しだれ桜を楽しむには少し早かったので、昼食後に下伊那郡の大西公園の桜を見に行きました。この公園は、昭和36年集中豪雨で大西山が崩壊し、その犠牲者の慰霊と悲劇が二度と起きないようお願い込めて桜の木約3,000本が植えられた地ではありますが、数多い木々の中で2本のみ見事に花をつけていましたので、その桜の木の前で記念写真を撮りました。



▲大西公園で開花した桜をバックに記念写真

最後の目的地で飯田市座光寺にある元善光寺を訪れたところ桜は満開で見事でありました。このお寺では「一度隠れよ元善光寺、善光寺だけでは片詣り」と云われ、予てから参拝したいと思っていましたのでその願いもやっと叶いました。

帰路では、恵那峡SAに立ち寄った際、残雪を冠った御飯山の勇姿は素晴らしい感銘を受けるとともに、今回参加していた方々との親睦も十分図れた楽しい旅行でした。

第8回JNR三重地区 ゴルフ大会を開催

伊勢支部 島田 武千代

当支部では、ここ数年会員の高齢化によるOB会離れが進み、退会する会員も少なくありません。これらを防止するため、平成26年度から三重地区の組織の維持を推進する目的として現職JN東海社員をメンバーに加わっていただき、未来に繋がる組織拡大を主目的に始めました。

第8回目のJNR三重地区ゴルフ大会を3月16日、松阪カントリークラブで18名が参加して開催しました。

34歳の若手から77歳まで幅広い年代層で、平均年齢が64歳でした。当日は、寒さも緩み種やかな一日となり、ゴルフには絶好のコンディションでありました。年長者には距離も長く難コースに苦しみましたが、プレーそのものは年齢を感じさせない元気な姿で、また、若手は滝刺としたプレーで相互の親睦を深めることができました。



▲ゴルフを通して親しい絆をめぐらします

成績は、岡村多聞氏がグロス78とハンディ2の実力を発揮し他を寄せ付けない結果でしたが、若手の笠井 肇氏が日頃の練習成果を遺憾なく発揮し、グロス84と大健闘しました。ハンディにも恵まれ見事優勝の栄に輝き、岡村多聞氏は準優勝でした。

大会終了後の懇親会では、お互いの健康を講合い、成績発表では、優勝者の弁に和気あいあいとした雰囲気にもまれ楽しい一時を過ごしました。

今回の参加者は、何時もの大会に比べやや少な目でしたが、次回6月開催時には、初夏の風も爽やかな日が予想されることから多くの参加者で再会することを期待して解散しました。

東海大阪地方本部

第22回 ゴルフ大会を 開催



東海大阪地方本部 事務局

▲今大会も多くのメンバーが参加しました

4月22日、前日の雨も上がり新緑薫る中、当地方本部主催のゴルフ大会を「瀬田ゴルフコース」にて開催しました。

開会式では、地方本部長から参加者へのお礼と一日楽しいゴルフをやりましようとの挨拶とともに、今回の開催日も既に予約済みとの報告があり、引き続きの参加の呼びかけがありました。

前日の雨の影響で少し泥濘のところがあるため、カートのコース内乗り入れは禁止されていましたが、コースを歩いていても日差しも程々で丁度良い気候であり、スコアは別として環境は最高でした。今回の大会には、32名の参加申込がありましたが、当日の朝、参加者1名が洗顔中にぎっくり腰に見舞われ、急遽棄権となるハプニングが起こりましたが、その他は全員最後まで怪けもなく楽しいゴルフとなりました。

グリーンは、カップ手前で急に曲がったりで(腕のせいではありません)皆さん苦労されていました。また、OB会恒例のクラブの置き忘れもありましたが、無事に手元に戻りましたし、事務局

局としても想定内のハプニングでスムーズに進行することができました。パーティの中には年齢差20歳の組み合わせもありましたが、大先輩の年の差を感じさせないゴルフに、若者が圧倒される場面もありました。終わってからのお風呂では、「あのショットが」「あのパットがなあ!」とお湯に浸かりながらあちこちで「たれば」の後悔談義に華が咲いていました。

表彰式では、久々に再会する参加者もあり、今日のプレーのほかに日頃の事やら、健康の事、孫の事などで話が盛り上がり楽しい時間を過ごすことができました。

最後に、次回の大会開催日を再度お伝えして第22回大会を無事終えました。

大会の成績は次の通りです。(敬称略)

優勝 施設支部 一乘 毅
準優勝 車両支部 由井 豊秋
三位 運輸営業支部 南保 誠

静岡地方本部

新潟弥彦山・角田山 春の花を楽しむ

清水支部 石原 高遠

清水支部ハイキング倶楽部では、4月25日・26日「花の百名山」で有名な新潟県の弥彦山、角田山をハイキングしました。

山道はすっかり雪が融け、人気のユキワリソウは終わっていましたが、雪融けから顔を出したキクザキイチゲ、カタクリ、イチリンソウ、ニリンソウ、タムシバ、エンレイソウ、トキワイカリソウなど春の花がいっぱいでした。森の中は、オクチョウジザクラ、ヤヒコザクラ、ヤマツツジが色を添えていました。中でも小鳥の囀りは抜群で、ウグイス、シジウガラ、オオルリなどが疲れを癒してくれました。

参加者は、常連のOB家族等17名で、殆どが65歳以上であります。全員足違者を花を楽しみながら、両山を踏破しました。両山とも山頂からは向かいに佐渡が見え、後ろに続く越後平野と合せ、稜線歩きを快適にしてくれました。下山後、麓の弥彦神社に参拝して健康祈願をしました。弥彦神社は、越後では



▲歳を感じさせない健脚の皆さん

有名な比定社で、最近外国人の参拝者が多く、境内を歩く姿が多く見られ、奉納の絵馬にも英語、韓国語、中国語で書かれた木札が散見されました。私達の取り組んでいる「你好教室」が役立つ日が来るのも近いと思いました。角田浜に宿を取りましたが、日本海の方角に沈む真っ赤な太陽には感動しました。

登山の後は、良寛さんの足跡を辿って出雲崎の良寛記念館に行き、子供好きな良寛さんの逸話、書など学芸員の説明を聞きながら楽しく見て回りました。「小林一茶」と良寛、「一休さん」と良寛など、時代背景は異なっても子供好きは共通、子供を話題とした詩など平岡インストラクターの指導で勉強、話題は尽きませんでした。仕上げは、良寛さんの漢詩を詠う「詩吟教室」で締めました。

日本海の魚を存分に味わい、山良し、花良し、景色良しの充実した山行でした。

恒例の 「お楽しみ支部総会」を 盛大に

富士宮支部 山田 修三

5月14日、第29回支部総会を富嶽温泉「花の湯」において、地方本部長をお迎えて開催しました。

出席者は、会員66名中36名で、この中には最高年齢者91歳になられる佐野 栄氏と鈴木松一氏が出席され、懐かしい友に会えるのが楽しみと元気な姿を見せてくれました。

支部長から「我々の全員が国鉄とJRに生涯を託し、子供を成長させながらそれなりの生活ができてきた事への感謝の気持ちをお忘れず、皆さん元気に長生きしましょう」と挨拶がありました。

当支部の「会議は短く、楽しみは長く」の共通理念で議事が進められ、平成27年度の事業活動、収支決算報告と会計監査報告が行われました。引き続き平成28年度の事業計画(案)、予算(案)、役員改選(案)も全会一致で承認されました。

今年も総会終了後の懇親会は、「飲み放題、唄いたい放題、囲碁やりたい放題」、更に「温泉も浸かりたい放題」で行われ、



▲旧知の友と楽しく盛り合わせました

恒例のビンゴゲームでは、会員の「Fうえのグリーンファーム」代表である井出幹雄氏から提供された自作作のブルーベリージャムの景品獲得を目指して、事務局長から数字が読み上げられる度に、「リーチビンゴ」と大騒ぎで大いに盛り上がりました。

また、カラオケの合間に88歳の米寿である西原秀雄氏が愛用のクラリネットで奏する「居酒屋」の演奏には、往年の腕は衰えておらず、全員がうっとり聞き惚れました。

11時30分から始まった宴会は、14時で流れ解散の予定で進みましたが、話が弾み多くの皆さんが時の経つのを忘れ、昔の仲間を懐かしみ、お互いの健康を確認しあいながら、夕方まで有意義な時間を過ごしました。

久しぶりの出合いを堪能した面々は、次の総会での再会を約束して会場を後にしました。

平成27年度

期末連結決算を発表 (4月27日)

●財務部

平成27年度は、安全・安定輸送の確保を最優先に一層の輸送サービスの充実を図りました。当社の運輸収入は、ビジネス・観光ともに輸送量が順調に推移したことから、好調だった前年度を上回る増収となり、連結営業収益全体でも増収となりました。

また、営業費はグループ会社において増加しましたが、当社の山梨リニア実験線における減価償却費の減等によりグループ全体では微減となりました。この結果、増収・増益で営業収益、各利益とも過去を上回る決算となりました。長期債務については2,054億円を縮減して1兆9,450億円となりました。

今後も引き続き、安全・安定輸送の確保を最優先に、グループ全体で収益力の強化と技術レベルの不断の向上に取り組むとともに、設備投資を含めた業務執行全般にわたる効率化と低コスト化を徹底し、経営体力の充実を図ることが必要です。このためにも社員一人ひとりが日々緊張感を新たに業務に取り組むことが重要です。

■平成27年度連結決算のポイント

営業収益	1兆7,384億円	(+661億円)
経常利益	5,114億円	(+833億円)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,374億円	(+733億円)

()内は対前年同期増減
(注)親会社株主に帰属する当期純利益は前年度における「当期純利益」の増減を記載

■営業収益、営業費等の構成

(単位:億円)



(注)記載金額は単位未満切り捨て表示

約6年半ぶりに全線営業運転

名松線 家城～伊勢奥津駅間が 運行再開

●東海鉄道事業本部

3月26日、約6年半ぶりに名松線の家城～伊勢奥津駅間で鉄道による運行を再開しました。

名松線は、平成21年10月8日の台風18号により全線にわたり大きな被害を受け、10月15日に松阪～家城駅間は鉄道で運行を再開しましたが、特に被害の大きかった家城～伊勢奥津駅間はバスによる代行輸送を行ってきました。



▲被災時(盛土流出)の様子

▼復旧の様子



復旧工事及び運行再開に向けた整備は平成28年2月5日に完了し、2月16日夜間にドクター東海による検査測定を行い、その翌日から乗務員の訓練運転を実施しました。

運行再開にあたり、沿線の方々には「自治体の広報誌」や「新聞の折り込みチラシ」、「踏切への幟旗設置」等で注意喚起を行いました。

なお、運行再開日当日は伊勢奥津駅で出発式を開催し、三重県知事や津市長、中部運輸局長等にご来賓として出席いただきました。名松線の全線運行再開後も安全・安定輸送に努めていきます。



▲出発式におけるテープカット

設立から117年5カ月の歴史に幕

ありがとう! 伊勢車両区

●東海鉄道事業本部

気動車検修体制見直しに伴い伊勢車両区は閉区することとなり、3月31日、すべての業務を完了しました。明治31年

に参宮鉄道山田機関区として設立された後、伊勢運輸所伊勢市派出等を経て、平成13年4月1日に伊勢車両区が発足、設立から117年5カ月、車両区発足から15年の歴史に幕を閉じることになりました。

伊勢車両区では、紀勢本線・参宮線・名松線を走行する気動車(キハ40系・キハ11形)の運用及び保

業務完了式での集合写真▶



多くのファンに見送られ勇退

キハ40系ラストラン

●東海鉄道事業本部

平成28年ダイヤ改正の前日3月25日に、参宮線鳥羽駅発伊勢市駅着の列車で、国鉄時代に製造した気動車・キハ40系が最終営業運転を迎えました。

キハ40系は国鉄時代の1976年から1981年にかけて全国の子会社ローカル線向けに投入された普通気動車であり、当社ではこれまで主に高山本線・太多線・紀勢本線・参宮線で運行されてきました。平成28年ダイヤ改正以降、当社管内の気動車はすべてJR発足後に製造された車両となっています。

ラストラン当日は、鳥羽駅-伊勢市駅ホームをはじめ沿線にキハ40系の最後の雄姿を見届けようと、多くのお客さまやファンが集まりました。熟練した運転技術をもつ伊勢運輸区の小西宏幸指導運転士のもと、大きな混乱もなく無事故でラストランを完了することができました。

運用を終了したキハ40系はミャンマー鉄道省からの要請を受け、同国へ譲渡されています。ミャンマーでのキハ40系の活躍を期待します。

守(仕業・交番検査等)を行ってきました。2月24日には、伊勢車両区での最終交番検査を実施しました。3月26日のダイヤ改正に伴い運用を終了し、一部の車両は名古屋車両区へ転属となり、その他はミャンマー鉄道省に譲渡されます。

区は「和」の下に社員全員が協力し、安全・安定輸送確保のため、日々車両の検査や異常時対応を実施してきました。今後も伊勢車両区で培った知識・技術を発揮し、在来線の安全・安定輸送を守り抜いていきます。



▲快足するキハ40系



▲伊勢市駅では多くのお客さまがお出迎え

名古屋JRゲートタワーホテル

平成29年4月17日開業 (宿泊予約スタート)

●事業推進本部

名古屋駅に建設中のJRゲートタワー内に入居する「名古屋JRゲートタワーホテル」について、開業日を平成29年4月17日とし、本年4月1日より宿泊予約を開始しました。

宿泊主体型のこのホテルは3つの特徴を有しています。第一に、駅直結&クイックチェックアウトにより、客室から新幹線改札口までドア・ツー・ドアで約5分と大変便利です。第二に、遮光・断熱・防音・脱臭を徹底した客室設備と、眠り心地を追求したベッドや足を伸ばしてお湯につかれる広く深いバスタブなどにより、静かにくつろげる快適な空間を提供します。第三に、レストラン「THE GATEHOUSE(ザ ゲートハウス)」を同時開業し、地産の食材を取り入れた上質な朝食を提供します。東京・南青山で人気のモダンフレンチレストラン「L'AS(ラス)」を経営する兼子シェフがメニュー監修する同レストランでは、宿泊のお客さま以外でも、ランチ・ディナーなどで東京の最先端の料理を堪能いただけます。

宿泊のご予約など詳細は、㈱ジェイアール東海ホテルズの開業準備室(☎052-566-2111)までお問い合わせください。



▲客室イメージ(ダブルルーム)



▲レストランイメージ

いいもの探訪

I I M O N O T A N B O U

全国の皆様に、まだ知られていないJR東海沿線地域の魅力を伝えたい。そんな思いで、「いいもの探訪」のサイトはオープンしました。

原材料にこだわった美味しい食べ物や、伝統の技を受け継いだ工芸品、観光スポットや現地ならではの体験もの。生産者の方のこだわりが詰まった「いいもの」を厳選してご紹介しております。

現在はご紹介のみですが、今年中のネット販売開始に向けて準備を進めているところです。

ホームページ

特設記事も掲載しています!



Facebook

「いいもの」を押して最新情報をチェック!



「知る・楽しむ」「味わう・使う」「体験する」をワンストップでご紹介

沿線8府県(愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・長野県・山梨県・京都府・滋賀県)の情報を中心にご紹介しております。情報は随時追加しておりますので、こまめにチェックしてみてください。

知る 楽しむ		
味わう 使う		
体験 する		

いいもの探訪 検索
「いいもの探訪」サイト
「いいもの探訪」公式Facebook

<http://e-mono.jr-central.co.jp>
<https://www.facebook.com/e-mono.tanbou>

名古屋マリオットアソシアホテル

18F 日本料理「京都 つる家」オープン!



平成28年4月15日(金)、名古屋マリオットアソシアホテルの18Fに、日本料理「京都 つる家」がオープン!会員証を提示いただくと、10%割引が適用されます。ご家族・ご友人との会食に、ぜひご利用ください。

- 条件 ▶ 会員証の提示
 優待対象者 ▶ 会員証提示者とそのお連れ様
 優待期間 ▶ 7月1日～9月30日

優待内容 お料理・お飲み物料金の **10%割引**

※他の割引との併用は不可



ランチ「大徳寺」



店舗入口

※画像はすべてイメージです。

◆「京都 つる家」とは(<http://www.kyoto-tsuruya.co.jp/>)

- 明治41年の創業以来、京都・岡崎に本店「岡崎 つる家」を構える老舗料亭です。
- 中部地区には今回が初出店です。
- エリザベス女王、プッシュ大統領など多くの国賓をお迎えした実績を有しており、高品位なサービスを提供します。
- ミシュランガイドで7年連続「星」を獲得するなど、高い評価を得ています。

◆主なメニューのご紹介

- ランチ：おぼんざい膳 3,800円 → 3,420円 ※限定30名様
- 季節の点心 4,500円 → 4,050円
- 大徳寺(だいとくじ) 5,500円 → 4,950円
- 6,500円 → 5,850円 (天ぷら付)
- ディナー：祇園(ぎおん) 12,000円 → 10,800円 (季節の会席料理)
- 平安(へいあん) 15,000円 → 13,500円 (季節の会席料理) ※金額はいずれも、消費税・サービス料込です。

日本料理「京都 つる家」
 (<http://www.associa.com/>)

◆ご予約・お問合せ
 TEL.052-584-1104(10:00～22:00)

- 営業時間 ランチ 11:30～14:30
 ディナー 平 日 17:30～22:00(ラストオーダー 20:30)
 土日祝 17:00～22:00(ラストオーダー 20:30)
- 定休日 なし
- 座席数 160席(個室12室、座敷5室) ※寿司カウンター13席

JRセントラルタワーズからのご案内

～この夏のひとときをタワーズプラザで～

和洋40の名店が揃う、名古屋駅直上のレストラン街「タワーズプラザレストラン街」。旬の味わいを楽しむ一品や地元食材を活かしたお料理の数々をご用意して、皆様のお越しをお待ちしております。



なだ万茶寮



真生堂バーラー

※画像はすべてイメージです。

- ◆お問合せ先
 TEL.052-586-7999
 タワーズインフォメーション(土休日も稼働10:00～17:00)
- ◆ホームページ
 (<http://www.towers.jp/restaurant/>)

〈東海鉄道OB会 会員様ご優待クーポン〉

3,000円以上のご利用で
500円OFF

対象 ▶ タワーズプラザレストラン街 12・13階全店舗
 有効期間 ▶ 平成28年9月30日まで

※お一組様につき1枚のご利用とさせていただきます。ご了承くださいませ。
 ※他のクーポン、割引との併用は致しかねます。

発行・ジェイアールセントラルビル㈱

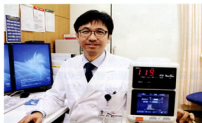
共通利用券(5)

店舗日付印



高血圧について

名古屋セントラル病院
循環器内科
科長 曾村 富士



世界のガイドラインでは、140/90mmHg以上を高血圧としていますが、健康診断等で「血圧が高い」と指摘されたら、どうすればよいのでしょうか。今回は高血圧についてお話しします。

高血圧の原因

高血圧の方の90%が本態性高血圧症で、遺伝的な体質、生活習慣による肥満や塩分過多、ストレスなどが重なって起こるといわれています。一方少数ですが、二次性高血圧症は何らかの特定の原因によって起こります。この場合、原因を調べて治療すれば治る可能性があるため、検査を受けることが大切です。

なぜ治療が必要なのか？

血圧が20mmHg上がると心臓や脳卒中を含む血管の病気で亡くなる危険性が約2倍になり、血圧180の人は120の人に比べ約8倍になります。こうした病気は死に直結する上、回復しても体力が落ち、半身麻痺や寝たきりなどの後遺症に苦しむことになる可能性があります。

生活習慣の改善

高血圧は糖尿病、脂質異常症、肥満を伴いやすく、喫煙と重なると危険性が非常に高まります。1gの減塩により血圧は1mmHg、1kgの減量により血圧は1mmHg下がるといわれています。さらに適度な運動、飲酒の制限、禁煙も重要です。減塩・減量等の効果が十分でない場合や高度な高血圧には薬が必要ですが、投薬を最小限とするためにも生活習慣を改善しましょう。

家庭血圧を測りましょう

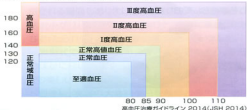
家庭で血圧を測定しても正常な値なのに、検診や病院で測定すると血圧が高くなる症状を白衣高血圧と呼び、治療の必要性は高くありません。逆に、診察室では正常でも家庭で測定すると高血圧となる症状を仮面高血圧と呼び、通常の高血圧と同様の危険性があり治療が必要です。つまり診察室血圧と家庭血圧が異なる場合は、家庭血圧を優先することになるため、家庭で血圧を測定することが重要です。また、家庭で血圧を測定することにより自身の健康に対する関心が高まり、他の生活習慣病の改善や治療継続率の向上にもつながります。

家庭血圧の測定方法

- 環境** 静かで適当な室温にて、いすに座って1～2分後
- 条件** 朝 起床して排尿した後(服薬前・朝食前)
夜 就寝前の排尿後
- 回数** 1機会に原則2回測定し平均をとる
- 評価** 高血圧 135/85mmHg以上、正常血圧 125/80mmHg未満

*家庭で測定する場合、5mmHgずつ低い基準値が設けられています。

成人における血圧値の分類(mmHg)



より長く健康な人生を楽しむためには病気の早期発見・予防が大切です。
定期的に人間ドックを受け、自己管理をして、よい生活習慣を心がけましょう。

支部だより「ふれあい240号」毎月発行で20年 磐田支部 藤田 信一郎

「ふれあい」の紹介

平成8年2月1日「ふれあい」が創刊されて以来、今年で丁度20年となり、第240号を発行することができました。これも長期間に亘り毎月の役員会で打合せを行い、コツコツと積み上げてきた結果が生み出したものと言えます。

磐田支部の毎月の主な活動状況は、役員会、支部情報編集会議、そして趣味の会のハイキング、グラウンドゴルフの活動、更に社会福祉協議会への古切手、プルタブの提供等があります。これらの活動を実行するためには、毎月発行する「ふれあい」が基本となっています。

この編集内容は、支部情報、新入会員の紹介、クラブ情報と投稿(郷土史、健康情報、その他各種話題等)が内容です。毎月の編集で苦労するのは、先ず第一に編集会議で記事が集められるのか、記事が少なければ要請する必要がありますが、また、多い場合には字数を調整したり或いは次号に回したりして調整します。

「ふれあい」の読みどころは、先ず「郷土史」で磐田市及び周辺の地域の歴史を紹介してわかり易く紹介しています。そしてクラブ情報の「ハイキングクラブ」も好評で行程や歩行コース、距離等を細かく紹介したり、時にはJR東海のさわやかウォーキングに同行したりして賑やかに開催され、毎月楽しみにしています。この二つは現在もロングランを続けています。



▲前刊号を手にする鈴木義樹(向って左)と鈴木支部長

創刊当時の思い出

当時事務局長で支部長を経て現在顧問の鈴木喜久雄氏によると、平成8年に磐田支部新年会で支部長の飯田昭二氏とOB会活動をより活性化したいと話し合い、種々意見の中から月刊誌を発行し、全会員に配付することになりました。

編集委員は、鈴木喜久雄、中村義徳、鈴木祐策の各氏で編集会議を毎月末開催、創刊号は、平成8年2月号と決め、以下の構想で開始されました。

1.基本

- 毎月1日付で発行し、地域役員から全会員へ配付する。
- 誌名は、「ふれあい」とし、書道教室の先生でもある加藤俊雄氏に依頼。

2.掲載項目等

- 支部情報
- クラブ活動情報
- 当時のクラブは、囲碁、将棋、カラオケ、ハイキング、社寺詣、麻雀、俳句のクラブが活動。
- JR東海情報及びグループ会社情報
- 編集後記

3.まとめ

極めて短期間で実行する新しい企画でありましたが、種々作成過程において、役員会の協力で継続できましたが、特に、原稿の集約とB4版用紙一枚を如何にして上手に活用するかという点に意を注ぎ、読者の意見も参考にしました。

「会報への寄稿・投稿」要領

表紙 写真	会報「JROBとうかい」の表紙に掲載する写真を、広く会員から募集しています。応募写真は、発行の季節にあつたものでJR東海エリアを希望しています。 写真は、カラーB5サイズ以上一枚、ポジフィルム、デジカメデータでも結構です。 お送りいただいたものうち、ポジフィルム、デジカメデータ記録媒体は、後日返却します。	投稿 ページ	会員及びご家族により親しくでもらおうと、「投稿ページ」の欄を設けました。 家族成しは友達と一緒に、楽しいOB生活を送られている(旅行、遊び等)写真を紹介します。 写真のタイトル及び80字以内のコメントを添えて投稿して下さい。
支部 だより	OB活動の原点は、支部のそれぞれの活動にかかっています。 この欄では、各支部で行われている総会をはじめ、特色ある活動状況を、広く周知し魅力ある支部、活力ある支部づくり役に役立てていきますので、是非投稿して下さい。 テーマ、内容等は自由ですが、400～500字を目途にし、写真を添えて下さい。	文芸	会員から、「短歌、俳句及び川柳」を随時受け付けしています。応募は、会報発行毎に、一名様ごとに官製葉書一枚に、短歌は二首、俳句は二句、川柳は二句以内に限り、会報発行時の季節にあつたものとします。 応募の標、冠頭に「短歌」「俳句」「川柳」と本書して下さい。
読者の ひろば	会員からの「随筆、情報、体験談等」を随時受け付けています。テーマ、内容等は自由です。 原稿は800字以内で、必ず筆者の顔写真を一枚、また記事にちなんだ写真があれば添付して下さい。	掲載 要領	寄稿又は投稿された作品は、順次掲載しますが、応募状況や紙面の都合、発行時の季節等を考慮するため、掲載が遅れる場合がありますのでご承知下さい。 なお、誤字等は修正させていただきますが、寄稿又は投稿された原稿は返却いたしません。 各寄稿・投稿に際しては、必ず応募年月日、所属支部、氏名及び住所、電話番号を明記して下さい。

【寄稿及び投稿先】〒453-0801 名古屋市中村区太閤一丁目3番16号 東海キヨスク牧野ビル内 東海鉄道OB会・会報編集係宛

枯れ株に 「山野草の寄せ植え作り」教室を開催

東濃支部 足立 市治郎

私の住む町は、春は、新芽が芽吹き、山一面新緑となり、秋は、紅葉が楽しみ、JＲ東海のさわやかウォーキングの指定地となっています。

ハイキングコースは、東濃地区の名勝地「龍吟の滝（落差30m）、その上流にフケ所の滝があります。その山間を散歩していた際に目に付いた山野草で、自然の植物を生かして皆さんに楽しんで買えたらと考えた時、目の前にあった枯れた木の株に山野草の寄せ植えをしたらおもしろい作品ができるのではないかと頭に浮かび、早速家に持ち帰り山野草を枯れ株に植えてみましたところ、今まで死んでいた枯れ株も生き生きとしたものとなりました。その作品を皆さんに観賞していただくため、瑞浪市自然ふれあい館（絵画、写真、工作等の展示場）の一室に、この枯れ株寄せ植えを展示したところ、館長より地元の皆さんには是非手解きをしていただけないかとお話があり、参加者を募集したとこ



▲丁寧に指導されている様子

ろ20数名の方が集まり、講師を助めることになりました。

平成17年から始めた教室は、午前10時から12時までの大凡2時間かけて作った寄せ植えの株は、一人ひとりの思いが込められ、自分で作った寄せ植えの株を大切に持ち帰えられており、今日まで毎年実施しています。

東濃支部の皆さんは、焼物の町として有名な土岐市、瑞浪市にお住まいであり、各自で鉢を作り焼き、出来上がった鉢に寄せ植えを作り、夫々の市の文化祭等に出品しようと思気混んでおられます。

私も年齢的に40鉢ある盆栽を手入れするだけでも大変ですが、元気でいる限り続けたいと思います。

我が支部の誇り



大河ドラマ 「おんな城主 直虎」 放映～来年

遠州北支部 野末 統一

来年1月からNHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」が放映されます。ヒロインの「直虎」は、平安時代から遠州北西地区を治めていた国人領主「井伊家」22代当主直盛の一人娘でした。

室町幕府の崩壊から豊臣秀吉の天下統一まで戦乱の世となり、今川・武田・徳川の列強に囲まれた井伊家もその渦に巻き込まれ、1513年（永正11年頃）には駿府守護今川の配下になりました。しかし、井伊家の当主や直系男子は次々と戦で命を落したり謀殺されてしまいました。

出家して「次部法師」と名乗っていた直虎は、井伊家存続のため女性でありながら当主となり、23代当主直親の遺児虎松（後の24代直政）を育てました。

1575年（天正3年）15歳の虎松は、浜松城主徳川家康の家臣となり、関ヶ原の合戦後、石田三成の居城であった近江佐和山城主となりました。

その後、井伊家は、代々幕府権主であるとともに譜代大名の筆頭として江戸幕府を支え36代直弼は大老として、攘夷の高まりの中米國など西欧5ヶ国と通商条約を締結しました。

当支部の所属する浜松市北区の井伊谷に「井伊家」の菩提寺「龍潭寺」があり、直虎・直政などの墓所があります。現在の堂塔は、江戸時代に建造されたもので、うきうき張



▲龍潭寺庭園（小堀遠州作）

り廊下一刀彫り龍は左甚五郎作といわれています。

また、武士で茶人の小堀遠州作の庭園は、遠近法を巧みに取り入れた池泉庭園で国の名勝記念物に指定されています。

龍潭寺の近くにある「竜ヶ岩洞（りゅうがしどう）」は、総延長1kmに及ぶ鍾乳洞で、様々な形の鍾乳石は神秘的で30m落差のある滝は圧巻です。

「さわやかウォーキング」にも組み入れられている当地の名所・旧所をご紹介します。「二侯城址」は、武田信玄と徳川家康が激しい攻防を繰り広げた天竜川河岸の山城跡で家康の嫡男信康が悲劇の切腹をした所です。

「小国神社」は、遠州森町にある1500年に及ぶ歴史を持つ神社で、東京ドーム21個分の広さの境内に多くの社が建ち、桜・花菖蒲・紅葉など四季を通じ見所があります。同じ町内には森の石松が照る「大洞院」があります。来年の大河ドラマを是非ご覧ください。そして当地を訪れてください。

震災 ニュースに接しつ
老いし身体を はげましはげまし
疾する事の 出来ぬ我
ラジオの声に 応弾みし

清水支部 望月典子

赤々と 燃える篝火 新能
幽玄の世界 我れ魅入られし

時を終え 種子を残して 散りゆきし
紅葉に似たり 老いの我が身も

名古屋運輸車両支部 服部幸夫

もうよいよ 低血圧は 判つてゐる
でも腕に巻く 数字の上下

風呂上り揚り あゝあと声 ついと出ず
乳みどかれしと 身体応うか

洪松支部 原 哲

五月晴れ ヒツの成長 祈りつつ
洪松祭り 青空に舞う

菜の花の 波うつ好き日 しやかの前
甘茶汲む我 しあわせの慈悲

碧田支部 鈴木まよこ

通り行く 風に声あり 木の芽時
励ましの 声を互いに 辛夷咲く
病窓に 飛び交ふ鳥や 五月晴
退院や 樹々の緑の 眼にまぶし

清水支部 吉川武子

梅雨あけの 山登りする 麦藁帽
梅雨あけや 百花繚乱 傘の花

四日市支部 小川 勇

花吹雪 鉄黒々と 大手門
異国語の 飛び交う京や 花吹雪

東海東京地方本部 藤田 敏

自己責任 これから先の 生き様は
失礼という 言葉忘れた 人が増え

大府支部 嶋田 勇

料理する 妻の姿が あたたかい
雑魚の群れ いるから世間 丸く行く

名古屋運輸車両支部 山田 愛

老いの坂 まだこれからと 胸をはる
愛あれば 閉じた心も いつか開く

大府支部 家田 采

やつと来た 我が家が春が 二階まで
またひとり 飲んだ仲間が 向う岸

三河支部 加藤哲郎

編集後記

本部、各地方本部、各支部の総会がほぼ終わり、地方本部長及び支部長が交代されたところもあり、それぞれが新たなスタートを切られました。

本部総会では、本年度基本方針として、OB会の課題であります会員増強を推進するため、未加入者への積極的な勧誘活動と退会者の抑制に重点をおいていくことが承認されました。これからも会員の皆様が集まれる楽しい企画を多く開催され、活発な活動を展開されますようお願いいたします。

1. 本部・支部だより

地方本部、各支部では、交流ゴルフ大会、バス旅行が開催され、会員相互の親睦が図られており、また、山東支部から「ゲンジホテルの里」のホタル祭りを紹介いただきました。

OB会員が中心となって、ホテルの顔となるカワニナを育て、多くのホテルが乱舞するよう活躍されています。ぜひ、毎年6月第1週に開催されますホタル祭りへお出かけ下さい。

2. 投稿ページ

朝田支部の藤田信一郎さんから、支部だよりを毎月発行し20年間継続されたことは、会員の皆様が、日々情報交換され、支部だより紙面の工夫をされておられます。今後も更に永く継続をしていただきたいと思っております。

3. 会員優待情報

「OBとうかい」の会員優待情報をより身近なものとしてご利用いただけるよう、駅構内の飲食店を中心としたお値打ちな優

待サービスを、JR東海総務部、事業推進本部のご支援により、駅ビル会社のご協力を得て実施していますので、多くの会員の皆様にご利用いただきたいと思っております。

4. インストラクター

東濃支部の足立市治郎さんは、80歳を超えられても地方本部主催のゴルフコンペにも参加されるなど、お元気で活躍されており、趣味も多彩で、特に山野草の寄せ植え作りは、地元の方々にもご指導されておられ、いつまでもお元気で継続していただきたいと思います。

5. 我が支部の誇り

今回、遠州北支部からいただきました。遠州北西地区を治めていた井伊家22代当主井伊直盛の一人娘が主人公となり、大河ドラマ「おんな城主直虎」として来年放映されることになっています。この地区は歴史的にたくさんのお史跡がありますので、会員の皆様も、ぜひ尋ねてみてください。(南川)

